

## 女子大生増加プロジェクト（J Z P の取組み）

### H21 年度大学職員情報化研究講習会研修レポート

#### テーマ「女子大生を増加させる」

男女比に偏りがある大学において、女子大生を増やすにはどうしたらいいか——  
この試みについて、時系列を追ってどのようにコンセプト設定および発表を行ったかにつ  
いて記述する。

#### 1. 第一ステージ（2 日目：9:00-12:00）

##### テーマ（1）お互いを知るための自己紹介

両隣の参加者と講習会参加の目的と業務上の情報・情報技術との関わりおよび昨日の  
講義を受けての感想、印象に残ったキーワードを交えて自己紹介を行った。これを通じ  
て互いの大学の規模、専門等、各参加者の背景を知ることができた。

##### テーマ（2）グループとしてのテーマ設定

各参加者から、様々なテーマ案が出されたが、満場一致で以下のテーマを今回取り扱う

ことに決定した。当該テーマは、以下の問題を抱える大学に勤務している職員からの提案で、今回の研修でのグループワークが、他のテーマよりも、もっとも具体的な形をもって、大学現場で我々の提案が活かされるのではないかという希望をもとに採用された。

#### [テーマ]

「女子学生を増やすにはどうしたらよいか」

グループ名： Joshidaisei Zouka Project → JZP

#### [背景]

- ・経済系の大学
- ・経済学部など既存の学部は男女比が 8 : 2 (男 : 女)
- ・近隣には硬派な大学として知られる
- ・新設学部は男女比半々であり、キャンパスは同じ場所にある。

女子学生が増えることの

#### [メリット]

- ・女子の社会進出の一助となる。
- ・学内活動の活発化 (イベント、授業等)
- ・4年間を楽しく過ごせる
- ・愛校心がアップする

#### [デメリット]

- ・施設設備を再整備が必要 (女子トイレ、食堂など)
- ・女子が増えることで、既存のパターンが異なるカウンセリング対応が増える
- ・就職支援のメニューが増加する

メリットとデメリットについて、考慮を重ねたが、女子大生が増えることに際するデメリットは、施設の再整備など長期的視点にたてば、大学の強みとして強調できるポイントになるのではないかなど、肯定的な意見がメンバーから出された。

## 2. 第二ステージ (2 日目 : 13:00-15:00)

テーマ 問題の分析と解決に向けてのディスカッション

第一ステージで設定したテーマについて、問題点、課題の洗い出しを行う。

同様な事例について、各校の取り組みや解決事例を紹介する。

テーマ「女子学生を増やすにはどうしたらいいか」

[各校の取組み・解決事例の紹介]

- ・兵庫県警にきてもらって護身術を学ぶ
- ・ウォーキング講座、就職に役立つメイク（男子学生以上に見た目が就職にかかわる）
- ・著名な客員教授を招聘し、授業を一般公開
- ・食堂をリニューアル、公開へ
- ・生涯学習への取組み
- ・間違った薬の知識、うつ病に関する講座を開設する
- ・近隣の小学生を呼んで学生サークル主体のイベントを開く
- ・新しい取組みを行って、**youtube** で流してプレスリリースを行う
- ・ファッション調査等、情報発信等企业と連携することに特化したサークル

[取組み案]

- ・女子高生限定オープンキャンパスデー
- ・経済を絡めたイベントを開催する
- ・企業と連携して商品開発
- ・テニス、ダイエット、ダンスなど女子が楽しめるサークルを作る
- ・女子学生自治会を組織させる
- ・大学グッズを女子向けに（学生証のデザインを選択できる）
- ・女子学生に特化した学部にしてしまう→そこに通うことがおしゃれ
- ・男女半々で学生に **webpage** を運営させる

3. 第三ステージ（2日目：15:00-18:00）

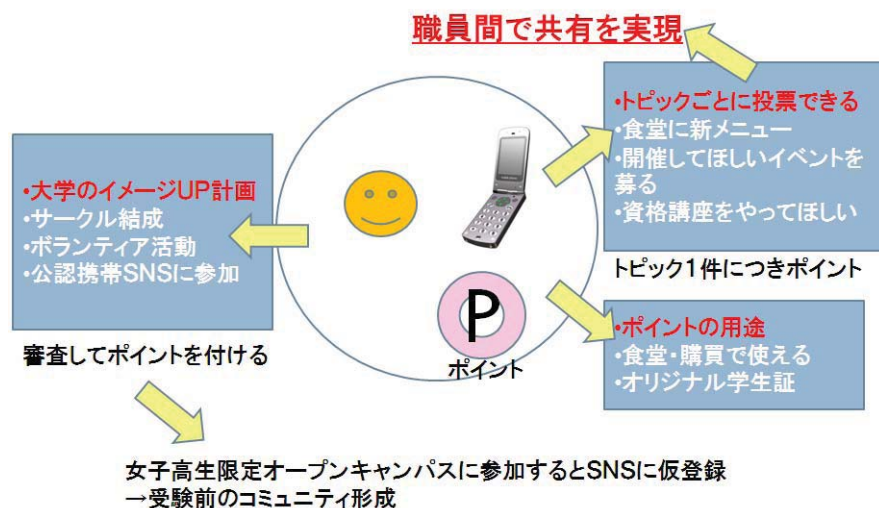
発表に向けての内容の絞り込みと議論の掘り下げ

午前中はブレインストーミングの形式で、それぞれ思いつくままに各校の取組み事例と解決事例を出していったが、本ステージでは、これを「学外の女子」「学内の女子」「学内の男子」とターゲット別に分類した。

その上で、10分のプレゼンテーションにまとめるために、内容のドリルダウンを行うため、主となるターゲットを「学内の女子」へのサービスの充実についてウェブを通じて外部に伝えることで、女子の志願者を増やしていく方向性でまとまった。

下図は情報機器（携帯電話）を用いた **JZP** システムの概要である。

## JZPシステムの概要



#### 4. 第四ステージ（3日目：9:00-11:30）

まとめ・成果発表・アクションプラン

発表に向けて、発表資料の見直し、およびレポートの作成確認をメンバーで行った。

学内の女子学生へのサービス向上は携帯ベースのシステムを構築することで行い、各種アンケート、投票システムを設置し、学生はそのシステムに投票等を行うと、食堂・購買等で使用できるポイントに還元することができる。

また、学外向けにはこのシステムを通じて改善された学内での取り組みをウェブを通じて発信していき、高校生にキャンパス内の活動を周知することで、女子志願者を増加させることができると考えられる。

[他グループからの評価を受けて]

「八人のうなぎ」グループより

- ・チーム名から、提案内容につながっていて良かった
- ・パワーポイントの中で、アニメーションが良かった
- ・着眼点が斬新 → 女子高生専用SNS、女子高生が好きそうな携帯を使う
- ・オリジナル学生証をつくる → 普通では考えられない
- ・ポイント制 → 学内で活用される
- ・提案としては、オープンキャンパスの時にイケメンをそろえて案内するのではよ

いのではないかと

以上